

カジキマグロの角（吻）からデニム新製品開発にチャレンジ

（宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業）

有限会社 オイカワデニム

事業概要

当社は、昭和56年に宮城県気仙沼市においてデニム衣類縫製工場として創業。リーバイスやエドウィンなど世界的ジーンズブランドのOEM（納入先商標による受託製造）を行いながら平成17年オリジナルブランド「STUDIO ZERO」を立上げ、それまでの製造のみから、企画から製造・販売に至るまで事業拡大を図ってきました。

オリジナルのデニム製品を強靱な麻糸で製造する世界唯一の加工技術を保有するだけでなく、一般衣料では他に類を見ない「製品保証システム」をサービスに採用するなど、独創性のある事業を展開。純粋なる“MADE・IN・JAPAN”の製品は国内外において高い評価を得ています。

また、東日本大震災後、地域の活性化及び新規雇用の拡大を図るべく気仙沼の地域資源を取入れた新ブランド「SHIRO 0819」を立ち上げました。この一環として、これまで産業廃棄物として破棄されていたカジキマグロの角（吻）を有効活用した新製品を創るべく、平成25年度宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業を活用し、宮城大学、宮城県産業技術総合センターとの産学連携による開発を進めた結果、繊維業界初となるカジキマグロの角（吻）を繊維化して織り込んだ非常に丈夫な生地を開発に成功しました。当社では、この生地をもとにジーンズのみならず新たな事業展開とマーケットの開拓を図っています。

企業の声

中小企業、とりわけ被災した企業にとって研究開発を行うための資金確保は大きな課題でした。平成25年度に宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業に採択され、資金の助成とともにみやぎ産業振興機構の温かい支援をいただき、無事に目標通り開発することができました。この事業は、構想があっても資金等の問題で開発に躊躇している中小企業を後押ししてくれる有意義な支援メニューでした。

今後も機構の各種メニューを活用し、さらなる企業力向上を目指します。

企業概要

代表者：代表取締役社長 及川 秀子

住所：気仙沼市本吉町蔵内 83-1

電話：0226-42-3911

E-mail：o-denim@world.ocn.ne.jp

URL：www.zerodenim.com

<https://shiro0819.jp>

従業員：23名

業種：デニム衣類の企画・製造・販売



カジキマグロの角（吻）を織り込んだ生地を使用した製品



宮城・仙台富県チャレンジ応援基金事業は、地域資源や優れたビジネスアイデア等を活用し、創業や新商品・新サービスを提供する新事業展開に向けた事業計画に一定の経費を助成し、研究開発や事業化を支援します。